

皆野・長瀨ロータリークラブ

週報

◇例会日 第1・第2木曜日 12:30~13:30 第3・第4木曜日のいずれか 18:30~19:30
◇例会場 長瀨レクリエーションホテル 養浩亭
◇事務所 〒369-1305 秩父郡長瀨町長瀨1446 養浩亭内
Tel:0494-66-4134 / Fax:0494-66-4134 e-mail:minanaga@chichibu.ne.jp



IMAGINE ROTARY

イマジン
ロータリー

第1598回例会 令和4年10月27日(火)

【会長の時間】

畝 徳治

皆さん、こんばんは。家族例会の時には謡曲の話をしています。この間までは世阿弥の意見という事での偉さを紹介しました。今日は謡そのものの社会での意味合いのような事を紹介します。出展は元は教師で大人になって勉強して、現在プロの安田さんの文章です。



謡は古典を学ぶツールだった

そもそも、今はなくなってきていますが、芸をたしなむという習慣が一定以上の階級の人には求められました。中世からつい最近まで社会的地位のある人や、教養があるとされる人は芸のひとつやふたつはたしなむものだったのです。中国でも、「論語」には「芸に遊ぶ」という行為が「道」や「仁」や「徳」と並べて書かれています。芸をもたないということは、道からも徳からも離れており、文化人ではないと思われていました。しかし、これは逆もありで、芸から文化を学ぶ、芸から道や徳を知るという人も多かった。中でも能の謡は日本の文化を学ぶには最適です。というのも、謡の詞章には、古典が数多く引用されているからです。謡は室町後期には都市に普及していましたが、江戸時代になると当たり前の教養として、暮らしに溶け込んでいきました。この頃に能の中から謡が分離していきます。本来、日本の古典はあらずじにあまり意味がなく、特定の一部を取り出してそれを丹念に読むことによって理解を深めるものです。黙読だけではなく、実際に自分で声に出し、時には自分も古典の主人公となって演じたり、あるいは実際に旅をしたりするものでした。それには能がうってつけ。声に出す時には謡の手法が使えます。

たとえば、「源氏物語」のような長大な作品は、昔でもしっかりと読んでいる人はほとんどおらず、多くの人にとっては謡を通して知りました。寺子屋で謡ううちに自然と「源氏物語」も身につけていたのです。祝い事の場で謡う祝言謡を入れた教科書もあれば、「源氏物語」などで能になっている場面を、挿絵入りで謡として伝えるような教科書もある。「源氏物語」は全部を通して読もうとすると大変ですが、よく引用される箇所は、だいたい20カ所ぐらいと決まっています。たとえば「雨夜の品定め」や、六

条御息所のとり憑く場面、葵上の亡くなる場面・・・そういう名場面は能になっているものが多く、それを謡として寺子屋でも習うので、自分が光源氏や六条御息所になったつもりで謡っているうちに、いつのまにか物語の本質を知るようになるわけです。

ですから、能は武士だけのものでしたが、その詞章を謡うという行為は、農民を含めて庶民に流行っていました。

今日は謡の効用を紹介させて頂きました。

【幹事報告】

山田 利明

1. 地区事務所より
 - ① 米山記念奨学委員会クリスマス会の案内
 - ② 地区会計報告について訂正及びお詫び
2. 米山記念奨学会よりハイライトよねやま
3. 横浜金沢八景ロータリークラブより年度計画書
4. 秩父地区暴力排除推進協議会定期総会（書面会議）の結果について



お誕生日おめでとうございます



高田会員
奥様 妙子さん

ニコニコボックス

♪ 今日グラフィックデザインの新事務所が完成し、設計者として私と長男鉄也と孫ちなつの3人で出席し、感謝状をもらいました。入口ホールに松山秀樹プロのシャフトが飾ってあります。 山田 利明

♪ 9月女房の誕生日で花束を頂きました。ありがとうございます。 高田 富康

合計 3,000 円

謡曲 「熊野」

シテ文ノ段

「甘泉殿の春の夜の夢。心を砕く端となり。驪山宮の秋の夜の月終無きにしも非ず。末世一代教主の如来も。生死の掟をば免れ給はず。過ぎにし二月の頃申しゝ如く。何とやらん此の春は。歳古りまさる朽木桜。今年ばかりの花をだに。待ちもやせじと心弱き。老の鶯あふ事もなみだに咽ぶばかりなり。たゞ然るべくは宜きやうに申し。暫しの御暇を賜はりて。いま一度まみえおはしませ。さなきだに親子は一世の仲なるに。同じ世にだに添ひ給はずは。孝行にも外れ給ふべし。だだかへすがへすも命のうちにいま一たび。見まゐらせたくこそ候へとよ。老いぬればさらぬ、別のありといへば。いよいよ見まくほしき君かなと。古言までも思出の。涙ながら、書きとゞむ」



小林 一夫会員



宮前 英雄会員